

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2019年 3月 15日

事業所名：たっち

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	療育に必要なスペースを確保している。	お迎え時の面談スペースが狭い はい74%、どちらともいえない16%、いいえ3%、わからない6%	希望される方には別室(個室)へご案内させていただきます。
	2 職員の適切な配置	人員の指定基準以上に職員を配置している。	はい84%、どちらともいえない6%、わからない10%	今後も指定基準以上の職員を配置します。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	目的に応じてフロアのレイアウトを考え安全な導線を確保しています。	はい84%、どちらともいえない10%、わからない6%	今後も安全に過ごせるよう取り組んでいきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日掃除を行い、清潔を維持し、気持ち良く過ごせる空間を確保している。季節によってはウイルス対策を行っている。	はい87%、どちらともいえない10%、わからない3%	今後も継続していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日行っています。		今後も継続していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	他部門と連携し客観的な意見をいただいている。		今後も継続していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	施設内勉強会を計画実施している。		今後も継続していきます。
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者面談を実施し、子どもの課題や保護者のニーズを確認、分析し計画を作成している。		今後も継続していきます。

切な支援の提供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に応じて、個別・集団活動を実施している。	はい95%、どちらともいえない3%、わからない2%	今後も継続していきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援に必要な項目、具体的な支援内容を記載している。		今後も継続していきます。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	療育前に全職員が個別計画を確認し、個々に添った支援を行っています。スタッフ全体会議や、日々の申し送り等でも確認し、実施している。	はい87%、どちらともいえない13%	今後も継続していきます。
適切な支援の提供（続き）	5	チーム全体での活動プログラムの立案	担当の職員が主体的な立案者となり、全職員の意見、利用者の現在の状態等確認し、立案している。		今後も継続していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・長期休暇などのサービス提供時間に応じて、支援を行っている。長期休暇は、様々なプログラムを組み、支援を行っている。	はい74%、どちらともいえない13%、いいえ3%、わからない10%	今後も継続していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	職員全体で様々な意見を出し合い、活動プログラムを構成している。特に長期休暇、学校休業日には、外出や季節行事を取り入れている。		今後も継続していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日のミーティングで、支援内容、状況の共有化を図っている。		今後も継続していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	療育終了後、スタッフ間で情報の共有をおこなっている。		今後も継続していきます。

	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	当日の支援内容や様子を、個々の記録として残している。支援の検証は、継続して実施している。		今後も継続していきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	保護者面談をした結果を踏まえ、支援計画の見直しを行っている。		今後も継続していきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	保護者からの依頼や担当の方からの提案があれば積極的に参加している。		今後も継続していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在のところ、該当者なし。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在のところ、該当者なし。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	就学の際、小学校へ訪問し情報の提供及び今後の連携を実施している。		今後も継続していきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在のところ、該当者なし。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	可能な限り参加している。		今後も継続していきます。

	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在のところ行っていません。	はい19%、どちらともいえない8%、いいえ26%、わからない52%	今後もその予定はございません。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在のところ行っていません。		今後もその予定はございません。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に重要事項を丁寧に説明し同意を得ている。	はい84%、どちらともいえない13%、わからない3%	今後も継続していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を丁寧に説明し、同意を得て交付している。	はい100%	今後も継続していきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施している。	はい87%、どちらともいえない6%、わからない6%	今後も継続していきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	療育のお迎え時の面談で行っている。	はい84%、どちらともいえない13%、わからない3%	今後も継続していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて、時間を設け訪問や電話等で相談に応じている。	はい94%、どちらともいえない6%	今後も継続していきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	不定期ではあるが保護者同士の交流を図る機会を提供している。	はい52%、どちらともいえない10%、いいえ3%、わからない35%	今後も継続していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	24時間転送電話にて、迅速な対応ができるようにしている。	はい52%、どちらともいえない6%、わからない42%	今後も継続していきます。

	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳に記載、配布物の作成、メールで行っている。	はい71%、どちらともいえない10%、わからない19%	今後も継続していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	行事予定やお知らせについては都度お手紙を配布している。	はい55%、どちらともいえない6%、いいえ10%、わからない29%	今後も継続していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の書類は、鍵付きの書庫で保管し、外部にもちださないように徹底している。	はい68%、どちらともいえない13%、いいえ3%、わからない16%	今後も、個人情報の取り扱いを、徹底していきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成し、緊急時の対策に取り組んでいる。	はい29%、どちらともいえない10%、いいえ23%、わからない39%	保護者への閲覧が可能であることを周知徹底する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回定期的に実施している。	はい26%、どちらともいえない10%、いいえ10%、わからない55%	今後も継続していきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	ミーティングにおいて虐待防口についての職員研修を口っている。		今後も継続していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に必ず保護者の方へ説明し同意を得ている。		今後も継続していきます。

5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの聞き取りにて、アレルギーの有無を確認している。		今後も継続していきます。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例は、スタッフ間で共有している。		今後も継続していきます。